



■ 総合科目 (学士基盤科目)

社会基礎学Ⅰ

科目番号 1226151

■ 総合科目 (学士基盤科目 - 高年次向け -)

社会基礎学Ⅱ

科目番号 1426011



世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

受講案内

2021



世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ディスカッションコース

■ 大学院共通科目

テクノロジーとグローバルで拓く未来

科目番号 0A00402

■ 大学院共通科目

多極化する世界とこれからの日本

科目番号 0A00401

開設趣旨

筑波大学とJAPICとの連携協定に基づき、本科目を開設します。

世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、AIやDX等、先端技術の進歩やビジネスモデルの変革などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行きかっています。同時に国同士は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題、国家間の安全保障や予期せぬ感染症の流布など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。

この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、この講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学を探究し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力の向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と地域の日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「環境・資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」(順不同)

- ・1226151 「社会基礎学Ⅰ－「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成:世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義」(総合科目(学士基盤科目)として春学期開講)
- ・1426011 「社会基礎学Ⅱ－「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成:世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義」(総合科目(学士基盤科目-高年次向け-)として秋学期開講)

また、大学院学生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

- ・0A00402 「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる大学院アドバンスト・ディスカッションコースⅢ－テクノロジーとグローバルで開く未来」(大学院共通科目として春学期開講)
- ・0A00401 「世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる大学院アドバンスト・ディスカッションコースⅠ－多極化する世界とこれからの日本」(大学院共通科目として秋学期開講)

【総合科目(学士基盤科目)の開設目的】

大学での自身の学びを、俯瞰的に捉えて動機づけられるように、広く社会や世界の視座からの多様な考え方や生き方に触れる科目群です。この科目を履修することで、自らの学問的基盤を整えます。この科目群には、学問に対する考え方の深化や、キャリア支援的な内容、分野横断的な内容、自己分析や自己の確立を促す内容、社会生活への適応性を涵養する内容を含みます。初年次向けの科目と高年次向けの科目があります。



学生に期待すること

「社会基礎学」というこの科目名からの印象は、例えば社会系の講義だろう、自分にはあまり関係がなさそうだな、というのではないのでしょうか？しかし、この講義に出席してみると、その印象は徐々に変わり、講義の終盤には、自分の専門分野の社会を通してのかかわりがおぼろげながらもわかってくるのではないかと思います。そして、知識のすそ野が格段に広がったことに気づきます。2019年度以降に入学する学士課程の当初に受講する総合科目「学問への誘い」では、各自の専門分野への理解を深めるとともに、そこから広がる様々な分野にも複眼的かつ俯瞰的な眼を養うことの重要性を説いています。「社会基礎学」は、社会の側から様々な学問への気づきを喚起しようとしています。人の営みは社会を形成しますから、まさにここに光を当てて、産業界・官界で活躍されている世界に挑戦するトップリーダーからの現代のホットでリアルな話を、実体験を交えながらお話しいただきます。講義のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「日本国内におけるグローバル化とは」、「地域社会の発展に何が必要か」、について理解し、様々な課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバルと地方創生の時代に果敢にチャレンジし、活躍できる人材を目指すことを期待します。

JAPICについて

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (Japan Project-Industry Council : JAPIC) は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在43業種221社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1.プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットホーム形成等活動を行っています。

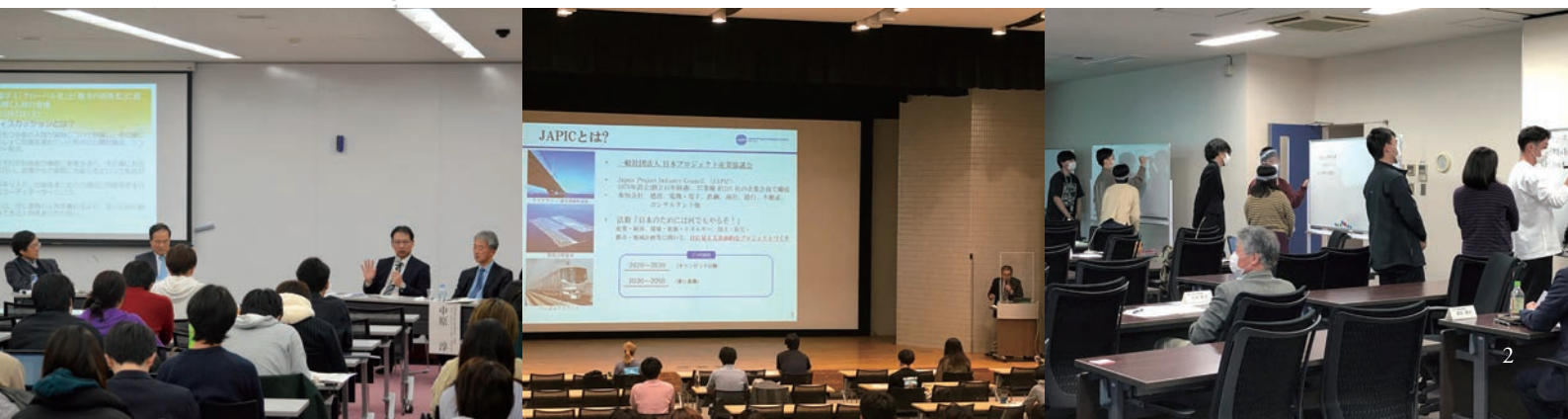


JAPIC 会長
進藤 孝生
Kosei SHINDO

日本製鉄(株) 代表取締役会長

【大学院共通科目の開設目的】

大学院生が多様なキャリアパスや様々な社会的要求に対応できる柔軟性と選択性を身につけ、時代に即した社会の需要に対応できる「豊かで逞しい人間力」を強化することを目的として、「知識の教授のみに偏らない高度な大学院教育の実現」を基本方針に、高邁な意識や高い倫理観を醸成しつつ、さらに能力やスキルの向上に資する「大学院生の基盤能力の向上」を担保するために大学院共通科目を開設しています。



春B 1226151

社会基礎学Ⅰ－「グローバル化」と「地方の活性化」に

オーガナイザー教員 ● 坪内 孝司 (システム情報系・教授、教学デザイン室長) 他

第1回
5/22
【土】
14:00~17:00

【導入講義Ⅰ】 筑波大学におけるグローバル人材育成方針

坪内 孝司 *Tsubouchi Takashi*

筑波大学教員 システム情報系教授／教学デザイン室長

プロフィール 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。専門はロボット工学。特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が主テーマ。2018年より教育企画室長、2020年より教学デザイン室長。本講義もこの室長関連の仕事で関与している。神奈川県出身。主な著書に「はじめてのロボット創造設計」をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味：古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダーの演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

【パネルディスカッション】【第1部】 グローバル化とは何か？グローバル化の中で日本は？

【パネルディスカッション】【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか？

吉村 麻央 *Yoshimura Mao*

＜パネリスト＞

石破茂衆議院議員 政策担当秘書

プロフィール 早稲田大学在学中、米コンロンビア大学に短期留学、多業種のアルバイトを経験し、政策担当秘書資格試験に合格。卒業後、石破茂事務所勤務、在職ついでに25年。国務大臣防衛庁長官秘書官拝命、公務海外出張を多数経験。陸上自衛隊予備自衛官として15年間登録(現在退職)。趣味は読書(特に推理小説)、釣り、海外ドラマ、マンガやアニメ。ゲーム、庭いじり、ドライブを少々。

三浦 潔司 *Miura Kiyoshi*

＜パネリスト＞

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 新日鐵(現 日本製鉄)に入社し、主に鋼材の営業を担当。分野は、建築・土木、造船、建設機械、産業機械、地域は、東京、大阪、名古屋とそれぞれ幅広く担当。2012年からの5年間は、新日鐵子会社にて、経営を担う。趣味は、ゴルフ、読書、散歩に芸術鑑賞を加えるべく、勉強中。

講義概要 グローバル化とは何か？日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か？産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

【導入講義Ⅱ】 連続リレー講義の意味・意義と狙い

三浦 潔司 *Miura Kiyoshi*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 新日鐵(現 日本製鉄)に入社し、主に鋼材の営業を担当。分野は、建築・土木、造船、建設機械、産業機械、地域は、東京、大阪、名古屋とそれぞれ幅広く担当。2012年からの5年間は、新日鐵子会社にて、経営を担う。趣味は、ゴルフ、読書、散歩に芸術鑑賞を加えるべく、勉強中。



写真は昨年度までの授業風景です。

太田 誠 *Ohta Makoto*

＜パネリスト＞

21世紀政策研究所 事務局長

プロフィール 博士(学術)／東北大学 政治学修士(ソウル大学)。1986年経団連入局。産業政策本部次長、国際協力本部副本部長(中国・韓国・ロシア担当)、ソウル駐在を経て2012年より現職。人文科学の政策への反映を研究。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。編著書「五次元視角からの東アジア：空間・時間・人間」(成澤勝博士古稀祝賀記念論集刊行委員会編、銀河書籍、2018年)等

坪内 孝司 *Tsubouchi Takashi*

＜コーディネーター＞

筑波大学教員 システム情報系教授／教学デザイン室長

プロフィール 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。専門はロボット工学。特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が主テーマ。2018年より教育企画室長、2020年より教学デザイン室長。本講義もこの室長関連の仕事で関与している。神奈川県出身。主な著書に「はじめてのロボット創造設計」をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味：古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダーの演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

第2回
5/29
【土】
13:30~16:30

グローバリゼーションにおける地域の活性化

坂本 広顕 *Sakamoto Hiroaki*

JAPIC 事業企画部 部長

プロフィール 日本政策投資銀行にて、政策企画部、人事部、経営企画部、財務部などを経て、2016年より地域企画部所属。地域資源(古民家、食、アニメ聖地等)やスポーツを活かしたまちづくり、交流人口の拡大に関する調査に従事。2019年からJAPICへ出向、林業振興等を担当。主著に「フィンテックと地方創生」、「AIと地方創生」、「コンテンツと地域活性化」等。

講義概要 国境を越えてヒト・モノ・カネ・情報の行きかう「グローバリゼーション」の大波の中、わが国は人口減少と高齢化の課題を抱え、地域においては過疎化とも相まって喫緊の対応が望まれている。こうした逆境においても、地域を一層活性化すべく、知恵を用いて取り組まれている様々な事例を紹介し、「Think globally, act locally」の観点から、受講生が自身の将来を描く一助となるような講義としたい。

自然資本を活用した地域経営

石崎 晶子 *Ishizaki Akiko*

パシフィックコンサルタンツ株式会社 経営戦略室 兼 戦略企画部 事業創生担当課長

プロフィール 2003年パシフィックコンサルタンツ株式会社入社、環境・エネルギー分野の部署にて環境関連計画・地球温暖化対策・生物多様性分野のコンサルティング業務に従事。その後、新事業企画、市場創出に関わる部署に異動、地域創生やプロジェクト化支援等に関わり、2018年より現所属。出身は岡山県。趣味は仕事と子育て(3人の息子を追い回す)。座右の銘は「死ぬこと以外はカスリキズ!」

講義概要 私たちの生活、企業、地域は、自然資本と生態系サービスなくしては存続できない。自然資本をどのように活用するかが、人口減少が進む地域では、地域創生の切り札のひとつになっている。自然資本という「元手」をてこに、地域を個人・企業・自治体という個で見るのではなく一つの家計と考え、地域を「経営」をすることが重要である。地域の現状と諸課題を紹介しながら、皆さんと共に持続可能な地域経営について考えたい。



貢献できる輝く人材の育成

グローバル化と戦争

沢井 俊光 *Sawai Toshimitsu*

共同通信社 編集局長

プロフィール 1985年共同通信社入社。神戸支局、横浜支局で主に事件取材。95年から海外特派員。ナイロビ支局でアフリカの紛争、飢餓、難民問題などを、バンコク支局でアジア地域統合、ミャンマー民主化などを、イスラマバード支局で対テロ戦争などを、ワシントン支局で米大統領選、イラク戦争などをそれぞれ取材。外信部長などを経て2020年から現職。東京都出身。趣味はテニス、読書。

講義概要 20世紀に2度の世界大戦を経験し、莫大な数の人が犠牲になったにもかかわらず、21世紀になった今も、世界各地で戦争は続いている。冷戦終結後、一気に進んだグローバル化によって各国の経済的結びつきが強まった結果、戦争の性質は変わったのか。「反グローバル主義」を掲げたトランプ前大統領の下で進んだ「米中新冷戦」が本格戦争に発展する恐れはあるのか。戦争取材の経験を変えながら、グローバル化と戦争の関係を考える。

国際協力の考え方、およびその実践を通じたグローバル人材の必要要素について

坂本 威午 *Sakamoto Takema*

(独)国際協力機構(JICA) 南アジア部長

プロフィール 1989年、海外経済協力基金(JICA前身)に就職。2020年9月から現職。この間、開発途上国への政府開発援助(ODA)業務に従事。東アジア・南アジア・中東・欧州等幅広く担当した他、運輸・情報通信分野、広報、国会対応、組織運営等多様な実務を経験。在外経験は、中国、イラク、インドと10年超。ドアはノックしなければ開かない、が持論。東京大学法学部卒。福岡県出身。

講義概要 日本国内における課題も多々ある中でも日本はなぜ遠い国への国際協力を推進しているのか、そして、どのような思想・理念で国際協力をを行うのか。また、国際協力の実践を通じて、グローバル人材として求められる要素はどのようなものが重要と考えられるか。こういった点について、具体的な事例も紹介しつつ、受講者とともにインタラクティブに議論し、思索を深める。

第3回

6/5
[土]

13:30~16:30

都市開発とエリアマネジメントの実践 ～日本橋エリアを事例として～

雨宮 克也 *Amemiya Katsuya*

三井不動産株式会社 開発企画部 開発企画グループ長 兼 環境創造グループ長

プロフィール 1987年4月、三井不動産(株)入社。長年、開発プロジェクトの企画、事業推進に従事してきた。主な担当にららぽーと横浜や東京ミッドタウンなど。また、鑑定企画室、スマートシティ企画推進部、三井不動産レジデンシャル(株)における関連業務を兼務し、都市計画や基盤整備の分野に幅広く関わっている。趣味は街歩き、読書等。慶大経卒、東大院修了、博士(工学)。

講義概要 東京都心部では地域価値向上のための「エリアマネジメント」が積極的に展開されている。これらの活動にはそのエリアでの都市開発を主導する民間デベロッパーが中心的な役割を担い、地域社会と連携しながら進めている場合が多くみられる。今、エリアマネジメントに何が求められ、今後どのように展開されていくのか。日本橋エリアを事例として取り上げ、これからの都市開発とエリアマネジメントの展望と課題について皆で考えたい。

モビリティ革命とMaaS(マース)

牧村 和彦 *Makimura Kazuhiko*

一般財団法人 計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長

プロフィール 1990年一般財団法人計量計画研究所(IBS)入所。東京大学 博士(工学)。愛知県出身。都市・交通のシンクタンクに従事。将来のモビリティビジョンを描くモビリティデザイナーとして活動。代表的な著書に、「MaaS ～モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ(日経BP)」、「Beyond MaaS ～日本から始まる新モビリティ革命ー移動と都市の未来ー(日経BP、共著)」、「バスがまちを変えていく～ BRTの導入計画作法(IBS出版)」等多数。

講義概要 モビリティ革命の本命と言われる「MaaS: Mobility as a Service(マース)」。様々な移動手段を一つに統合、スマホ一つでルート探索から予約、決済までが行え、「移動の所有から利用へ」をパッケージとして商品化した、究極の交通サービスがMaaSです。本講義では、MaaSが私たちの都市やライフスタイルにどのようなインパクトを与えるのか、必要となる基礎を学んでいただきます。

第4回

6/12
[土]

13:30~16:30

国際経済と総合商社の活動

重吉 玄德 *Shigeyoshi Harunori*

丸紅株式会社 経済研究所 企画・渉外チーム長

プロフィール 1997年、丸紅株式会社入社。エネルギー部門を経てペンシルバニア大学ウォートン校でMBA取得。その後、金融、人事、広報部を経て現職。2014～2016年 経団連 経済政策本部に出席。東京商工会議所参与。青山学院大学経済学部非常勤講師、神戸大学経済学部非常勤講師。

講義概要 刻々と変わる国際経済の荒波の中で、総合商社がどのようにビジネスを行ってきたのか解説します。MBAで学習する内容もわかりやすく紹介し、総合商社を通して社会人として活躍するために必要な知識に触れていきます。

経済産業政策について

佐々木 啓介 *Sasaki Keisuke*

経済産業省 大臣官房会計課長

プロフィール 1993年通商産業省入省。経済産業省産業資金課長 兼 新規産業室長、商務情報政策局サービス政策課長、大臣官房政策審議室長、経済産業政策局産業創造課長などを経て、2020年7月より大臣官房会計課長を担当。

講義概要 直近のコロナ禍の状況を踏まえ、国内外のマクロ経済動向を分析しつつ、新たな成長に向けた経済構造改革を推進するための最新政策を説明。特に、2050年カーボンニュートラルに向けたグリーン成長戦略、デジタル庁創設に向けたデジタル戦略、さらには行革本部における規制改革の動向を踏まえた制度改革等にフォーカスして、最新の経済産業政策を解説する。

第5回

6/19
[土]

13:30~16:30

秋AB 1426011

社会基礎学Ⅱ－「グローバル化」と「地方の活性化」に

オーガナイザー教員 ● 坪内 孝司 (システム情報系・教授、教学デザイン室長) 他

第1回
10/2
【土】
13:30~16:30

【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い

三浦 潔司 *Miura Kiyoshi*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 新日鐵(現 日本製鉄)に入社し、主に鋼材の営業を担当。分野は、建築・土木、造船、建設機械、産業機械、地域は、東京、大阪、名古屋とそれぞれ幅広く担当。2012年からの5年間は、新日鐵子会社にて、経営を担う。趣味は、ゴルフ、読書、散歩に芸術鑑賞を加えるべく、勉強中。



【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

石川 貴之 *Ishikawa Takayuki*

【パネリスト】

(株)日建設計 執行役員 新領域開拓部門 イノベーションデザイングループ プリンシパル

プロフィール 1987年日建設計入社。京セラドーム周辺地区、なんばパークス開発等の大規模都市開発業務に従事。2008年に(株)日建設計総合研究所に転籍し、東アジアやロシアでスマートシティなどの都市開発の案件組成支援を担当。2021年1月より現職。社会環境デザインに資するイノベーション推進を担当する。山口県出身。コロナ禍の在宅ワークが続く中、体重増加回避に苦労する日々。

平石 和昭 *Hiraishi Kazuaki*

【パネリスト】

(株)三菱総合研究所 主席研究部長/プラチナ構想ネットワーク 事務局長

プロフィール 1984年東京大学工学部土木工学科卒業。同年株式会社三菱総合研究所に入社。地域開発、交通計画、天然ガスパイプライン計画、海外事業(経済協力など)、マクロ経済、データサイエンスの各分野業務を歴任。MRIリサーチアソシエイツ副社長を経て、現在はプラチナ構想ネットワーク事務局長。趣味はゴルフ、テニス、音楽鑑賞。博士(工学)、技術士(建設部門)。

三浦 潔司 *Miura Kiyoshi*

【パネリスト】

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 新日鐵(現 日本製鉄)に入社し、主に鋼材の営業を担当。分野は、建築・土木、造船、建設機械、産業機械、地域は、東京、大阪、名古屋とそれぞれ幅広く担当。2012年からの5年間は、新日鐵子会社にて、経営を担う。趣味は、ゴルフ、読書、散歩に芸術鑑賞を加えるべく、勉強中。

坪内 孝司 *Tsubouchi Takashi*

【コーディネーター】

筑波大学教員 システム情報系教授/教学デザイン室長

プロフィール 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。専門はロボット工学。特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が主テーマ。2018年より教育企画室長、2020年より教学デザイン室長。本講義もこの室長関連の仕事で関与している。神奈川県出身。主な著書に「はじめてのロボット創造設計」をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味:古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダーの演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

講義概要 グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

第2回
10/9
【土】
13:30~16:30

国内・国際経済の最近のトピックス

中村 宏之 *Nakamura Hiroyuki*

読売新聞大阪本社 経済部長

プロフィール 1991年慶應義塾大学経済学部卒、読売新聞東京本社入社。経済部、政治部、ロンドン特派員、ハーバード大学国際問題研究所研究員、経済部デスク、調査研究本部主任研究員などを経て、2020年6月より現職。主な著書・共著に「おさえておきたい平成の経済[令和]経済のトレンドを読む」(山川出版社)、『御社の寿命』、『地元の力を生かす「ご当地企業」』(中央公論新社)など。

講義概要 経済のニュースは日常生活や将来の就職先を選ぶにあたって重要であるにも関わらず、学生の皆さんには苦手意識を持つ人が多いようです。その理由はシンプルです。ごく基本的な知識が不足しているために、経済ニュースを心理的に縁遠くしているからです。本講義では、直近の国内外の経済ニュースのトピックをとりあげて、それらの基本的な知識や内容を解説しつつ、日本や世界にもたらす意味を考えたいと思います。

企業経営の現状・課題と戦略

十河 英史 *Sogoh Eiji*

日本製鉄(株) 執行役員 人事労政部長

プロフィール 1989年新日本製鉄(株)(現・日本製鉄(株))入社。本社および複数製鉄所において営業、人事・総務等を担当後、2017年4月より薄板営業部長、2019年4月より執行役員人事労政部長。(公社)東京労働基準協会連合会 理事、中央職業能力開発協会 理事。

講義概要 本講義では、下記を中心に紹介し、日本のものづくりが目指す成長戦略について考察してみたい。①「鉄」という素材の多様な特性・魅力/②オイルショック・プラザ合意以降の超円高・グローバル化・再編・中国の台頭、近年の動向などの幾つもの危機を日本の鉄鋼業が如何にして乗り越えてきたかの事例/③日本鉄鋼業の今後の展望・ゼロカーボンへの対応・少子高齢化への対応

貢献できる輝く人材の育成



日本外交の現状と課題

森 健良 *Mori Takeo*

外務省 外務審議官

プロフィール 1983年外務省入省。在ドイツ日本国大使館参事官、国際法局条約課長、外務大臣秘書官、北米局北米第一課長、総合外交政策局安全保障政策課長、総合外交政策局総務課長、在アメリカ合衆国日本大使館公使、経済外交担当大使、北米局長などを歴任し、2018年1月より現職。東京都出身。趣味：ゴルフ、テニス。

講義概要 中国が台頭し、米国やヨーロッパの政治が大きく変動する中で、我が国の外交が直面する課題について紹介する。

未来の国土づくりを担う皆さんへ

森 昌文 *Mori Masafumi*

東日本高速道路(株) 代表取締役 兼 専務執行役員

プロフィール 1981年建設省入省。米国連邦運輸省道路庁、土木研究所ITS研究室長、近畿地方整備局長を経て、道路局長、技監、事務次官を歴任。入省後に「交通需要」に関する論文で博士号を取るなど交通全般にも明るい。2020年より現職。東京大学、京都大学、立命館大学等の客員教授も務める。リラックスする時に使う「お香」にも詳しい。

講義概要 我が国の持続的な経済成長や安全・安心で豊かな国民生活の実現は、今までも、そしてこれからも国土交通行政に携わる者のミッションである。国土づくりに携わる立場から、我が国が現在おかれている状況と対応、未来の国土づくりの可能性とそれを担う将来のシビルエンジニアへの期待を語る。

第3回

10/16
[土]

13:30~16:30

日本の安全保障環境と防衛政策

鈴木 敦夫 *Suzuki Atsuo*

防衛省 地方協力局長

プロフィール 1985年防衛庁入庁。米国国立大学国家戦略研究所客員研究員、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官、情報本部副本部長、防衛政策局次長、統合幕僚監部総括官、政策立案総括審議官、整備計画局長などを歴任(いずれも当時の名称)。

講義概要 わが国を取り巻く安全保障環境は急激に不確実性を増し、防衛省・自衛隊が担う役割や活動の場面も宇宙・サイバー・電磁波まで広がりました。北朝鮮による度重なる弾道ミサイル発射、中国による一方的な現状変更の試みの執拗な継続、新型コロナウイルス感染症に対する活動、大規模な自然災害に対する災害派遣活動、米国をはじめとする諸外国との間における防衛協力・交流など、時事問題を扱いながらわかり易く解説したい。

日本の宇宙政策について

松尾 剛彦 *Matsuo Takehiko*

内閣府宇宙開発戦略推進事務局長

プロフィール 経済産業省大臣官房会計課長、資源エネルギー庁総合政策課長、電力・ガス取引監視等委員会事務局長、大臣官房審議官(通商政策局担当)等を経て、2019年7月から内閣府宇宙開発戦略推進事務局長。東京都出身。座右の銘は、信は万事の基をなす。

講義概要 近年、①GPSや衛星データの利用拡大など社会システムの宇宙依存の深化、②国際競争の激化、③内外における新興企業の台頭、④月面を含む宇宙活動領域の拡大等、我が国の宇宙政策を取り巻く環境は大きく変化している。こうした状況を踏まえ、どのように我が国の宇宙開発・利用を支える産業・科学技術基盤を維持・強化し、安全保障の確保や経済成長の実現を図るべきか、宇宙政策のとるべき方向性について議論する。

第4回

11/13
[土]

13:30~16:30

地方自治の重要性とは何か?

森 民夫 *Mori Tamio*

前長岡市長/元全国市長会 会長

プロフィール 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。現在、一般社団法人地方行政リーダーシップ研究会代表理事を務める。

講義概要 グローバルに活躍できる人材とは、同時に現場の実態等のローカルな視点を併せ持つ人材である。国と地方の関係も同様であり、コロナ禍への対応、人口減少の進行、インフラの老朽化、頻発する自然災害等の諸課題に適切に対応するためには、国によるグローバルな政策と地方によるローカルな政策との調和が必要不可欠である。この視点について、長岡市の現場に即した政策、「子育ての駅」や「アオーレ長岡」等のユニークな政策を事例に解説し、地方自治の重要性について具体的に考える。

第5回

12/4
[土]

13:30~16:30

【パネルディスカッション】我が国が直面する構造改革と社会資本整備

中村 浩之 *Nakamura Hiroyuki*

パネリスト

株式会社みずほ銀行 執行役員 産業調査部長

プロフィール 1992年京都大学経済学部卒業、日本興業銀行入行(現みずほ銀行)。審査部門、営業部などを経て、2016年みずほ銀行産業調査部副部長、2019年4月産業調査部長、2020年4月より現職。産業調査部では、国内外で150名の部員を率い、約40の産業に関する調査・提言活動を統括。

中原 淳 *Nakahara Jun*

パネリスト

国土交通省 国土政策局長

プロフィール 本籍熊本県、大阪育ち、昭和62年東大法卒、同年旧建設省入省。公共事業の入札改革や道路公団等の民営化等に携わった他、ニューヨーク総領事館で米国政治、静岡県庁でまちづくりを担当。その後、人事課企画官や大臣秘書官等を経て、PFI/PPP担当の官民連携政策課長、インフラ老朽化対策等を担当する参事官、道路局総務課長、首都高速道路(株)取締役、地方創生推進事務局審議官、建設流通政策審議官を経て現職。

森 民夫 *Mori Tamio*

パネリスト

前長岡市長/元全国市長会 会長

プロフィール 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。現在、一般社団法人地方行政リーダーシップ研究会代表理事を務める。

坪内 孝司 *Tsubouchi Takashi*

コーディネーター

筑波大学教員 システム情報系教授/教学デザイン室長

プロフィール 1994年より筑波大学で教えている。本学出身。専門はロボット工学。特に自律移動ロボットやその関連技術の産業転用応用が主テーマ。2018年より教育企画室長、2020年より教学デザイン室長。本講義もこの室長関連の仕事で関与している。神奈川県出身。主な著書に「はじめてのロボット創造設計」をはじめとする3部作があり、2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。趣味：古典西洋音楽の合唱やフルート、リコーダーの演奏、庭いじり、ほかいろいろ。

春BC 0A00402

テクノロジーとグローバルで拓く未来



未来を拓いて行く為には、グローバルに考え・行動する事と、テクノロジーの活用（特にDisruptive Technology）が重要である。

世話教員 ● 逸村 裕 (大学院共通科目部会長、図書館情報メディア系・教授) ● 石田 東生 (特命教授) 他

担当教員

高原 勇 *Takahara Isamu*

内閣府 大臣官房審議官 (科学技術・イノベーション担当)
筑波大学特命教授、慶應義塾大学特別招聘教授

プロフィール 1988年トヨタ自動車株式会社入社。クラウン、レクサスGSなど新型車両の設計開発を担当。グローバル開発、設計革新の全社リーダー、BR-VI室長、VA開発部長を経て、筑波大学未来社会工学開発研究センター長に就任。現在は内閣府大臣官房審議官として、科学技術・イノベーションを担当している。筑波大学特命教授、慶應義塾大学特別招聘教授を兼務。

キーワード

次世代モビリティ、スマートシティ、スマートローカル、Society5.0、カーボンニュートラル、市場デザイン

第1回

6/2
【水】

13:00~

筑波大学
筑波キャンパス

●モビリティイノベーションの社会応用

CASEと呼ばれる次世代モビリティの技術革新について情報共有をしたうえで、産業競争力懇談会での提言策を分析しながら、グループワークによる次世代モビリティと未来社会像を描く演習を実施。

第2回

6/16
【水】

13:00~

筑波大学
筑波キャンパス
又は
東京キャンパス

●スマートシティの社会実装

政府のスマートシティ、スーパーシティに係る政策動向について情報共有をしたうえで、グループワークによる次世代に引き継ぐ基盤となるまちづくりと地域づくりとしてのスマートシティ像を描く演習を実施。

第3回

7/7
【水】

13:00~

筑波大学
筑波キャンパス
又は
東京キャンパス

●モビリティイノベーションとスマートシティから描く未来社会像

第1回、第2回の講義を通して検討した内容を前提に、次世代モビリティ、スマートシティによる市場デザインと未来社会像についてグループワーク、パネルディスカッションを実施。パネルには最前線で活躍する有識者の参加を予定。



写真は昨年度までの授業風景です。



秋AB OA00401

多極化する世界とこれからの日本



混迷の度を深める世界の中で日本は？ 難局に立ち向かう皆さんの決心は？

世話教員 ● 逸村 裕 (大学院共通科目部会長、図書館情報メディア系・教授) ● 石田 東生 (特命教授) 他

担当教員

平井 龍太郎 Hirai Ryutarō

筑波大学客員教授
双日(株) 副社長執行役員 社長補佐、営業管掌 兼 東アジア担当

プロフィール 1982年日商岩井(株)入社。双日(株)米国法人・経営企画部長、人事総務担当役員、アジア・大洋州総支配人、営業管掌役員などを経て2020年4月より現職。福岡県北九州市出身。海外駐在は中国(北京)、米国(ニューヨーク)、シンガポールで通算12年。お酒とゴルフを嗜まない、商社マン・スタンダード逸脱モデルの人材。退任後の夢は、恵まれない子供達の教育。

講師

11/17 [水]

橋本 政和 Hashimoto Masakazu

筑波大学客員教授
双日(株) 常務執行役員 インフラ・ヘルスケア本部長

プロフィール 1990年日商岩井(株)入社。愛知県出身。入社後は物流部隊に配属され、初出張は2年目の西アフリカ。1000km超の行程を野宿しつつ輸送監督として走破。その後はロシア衛星通信網の構築、米国駐在中にはトヨタ生産方式の普及活動、2011年インフラ事業へ転身、鉄道や再生エネルギー事業に取り組んだ。環境・産業インフラ本部長、エネルギー・社会インフラ本部長を経て、2021年4月より現職。私生活では十数年ぶりに下手なゴルフを再開、人より多く歩き、走り回ることによって運動不足を解消中。

講師

12/1 [水]

村井 宏人 Murai Hiroto

筑波大学客員教授
双日(株) 執行役員
リテール・コンシューマーサービス本部長

プロフィール 1989年日商岩井(株)入社。双日(株)自動車第二部部長、経営企画部長などを経て2016年4月より自動車本部長、2020年4月より現職。京都出身。学生時代は、中学から大学まで常に体育会水泳部に所属し水泳三昧の日々を過ごす。入社後、先進国から途上国まで50か国超を訪問。産業機械や自動車の輸出から事業会社の経営、M&Aまで様々な経験を重ねる。2020年度よりリテール・コンシューマーサービス本部長(2021年4月旧リテール・生活産業本部から改称)に就任、より一層生活に密着したビジネスに挑戦中。

河西 敏章 Kasai Toshiaki

筑波大学客員教授
双日(株) 執行役員
人事、総務・IT業務担当本部長

プロフィール 1968年生まれ、東京都出身。1990年日商岩井(株)入社。企業審査を担当後、ブラジルに駐在しリスク管理、法務を担う。双日発足後は、リスク管理部長、米国駐在(経営企画)、人事・総務部長を経て、2020年より執行役員 人事、総務・IT業務担当本部長として、人事及びIT領域の改革を推進中。また、2003年より約4年間鉄道業界に身を置き、他業界も経験している。ブラジル生まれの大学生の息子と娘。趣味は妻と週末ウォーキング。

キーワード

- ・過去を知り、現在を正しく理解して、未来を予測する力を養う契機とする。
- ・世界の潮流に対する知見を深め、自分の考えを発信することにチャレンジしよう。

第1回
10/20
[水]
13:00~

筑波大学

- **アイスブレイク：自己紹介・予め配布されたアンケートに基づく発表と会話**
- **講義「世界経済の変化における日本の産業論と商社活動(第一部)」と全員参加による議論**

第2回
11/17
[水]
13:00~

筑波大学

- **講義「世界経済の変化における日本の産業論と商社活動(第二部)」と全員参加による議論**
- **パネルディスカッション**
テーマ①：「インフラビジネスにおけるビジネス構築の機能と課題」
パネラー：橋本 政和(双日(株) 常務執行役員 インフラ・ヘルスケア本部長)
コーディネーター：平井 龍太郎
- **事前に提起された課題と発表・全員参加による議論**

第3回
12/1
[水]
13:00~双日(株)
本社21階

- **パネルディスカッション**
テーマ②：「リテール業界における商社の将来戦略」
パネラー：村井 宏人(双日(株) 執行役員 リテール・コンシューマーサービス本部長)
テーマ③：「これからの商社の人材戦略」
パネラー：河西 敏章(双日(株) 執行役員 人事、総務・IT業務担当本部長)
コーディネーター：平井 龍太郎
- **事前に提起された課題と発表・全員参加による議論**
- **ラップアップ・セッション(ゼミ全体の振り返り)**
(17:30 ~ 双日社内カフェテリアにて双日社員も参加したカジュアルなレセプションを開催予定)

学生の声 Student's Voice

総合科目（学士基盤科目） 社会基礎学Ⅰを受講して



人文・文化学群 日本語・日本文化学類 **布花原 楓** Fukahara Kaede

出席学生
の声
Student's
Voice 01

この講義では各界で活躍する先達から話を聞ける

この講義を受講しようと思った契機はいくつかあるが、知的好奇心を刺激されたという点が最も大きい。また、自身の所属する学群・学類が開設する講義では聞けないような話に触れられるだろうと思ったことも受講を決めた理由の一つだ。個人的には、国際協力を扱った回で出た「発展途上国の支援には物質的支援や技術の教授よりも知識や技術の共有が重要」という話が、

それまでの自身では思いつかなかった視座を得られたため印象に残っている。また、この講義では各界で活躍する先達から話を聞けるため、様々な知見も得られた。特に「コミュニケーションでは『論理・情熱・普段の行い』を大事にしろ」という話は今後の生活に役立てていきたいと感じた。

社会・国際学群 社会学類 **中澤 那由多** Nakazawa Nayuta

出席学生
の声
Student's
Voice 02

大学での学びの第一歩として大変有意義な講義

私は「地方の活性化」に興味があるため、社会基礎学という講義名に惹かれて受講を決めました。もともと興味があったということもあり「グローバル化」や「地方の活性化」について勉強してきたつもりでしたが、講義を受けることで多くの新たな視点が生まれ、今までの自分の考えの浅さが分かりました。やはり、実際に各界の最前線で活躍されている方々のお話を聞くことに

は、机上の勉強では得られないものがありました。しかし、そのような方々のお話を聞ける機会はなかなかありません。したがって、この講義は知見を広げる減多にないチャンスだと思います。今後の大学での学びの第一歩として大変有意義な講義でした。

生命環境学群 生物学類 **佐藤 綾香** Sato Ayaka

出席学生
の声
Student's
Voice 03

将来に必ず役立つ講義

世界で活躍する人たちの貴重なお話を聞けるということで、この講義を受講しようと思いました。この講義では、自動運転技術や都市デザイン、経営についてなど、幅広い分野のお話を聞くことができます。また、グローバル化社会の講義では、国際協力をするうえで、グローバル人材になるために、私たちに

求められていることを学ぶことができます。どの講義も新鮮で、自分の将来に直接的に役立つ講義だと思います。自分の将来が見えていないという人は自分の将来について見つめる良い機会になると思うので、ぜひこの講義を受講してみてください。

理工学群 社会工学類 **菅野 恭花** Kanno Kyoka

出席学生
の声
Student's
Voice 04

遠い世界のことだと思っていたことが意外にも身近であると実感

本講義の受講を決めた主な理由は、普段ではかかわることのできない講師陣が私たちの世代に向けた授業をしてくださることが魅力的に感じたからです。私は「都市」について興味があったので本講義で、省庁、不動産業界、また他分野の企業からの意見を聞いたことは非常に貴重でした。自主的に調べる際はどうしてもその業界にのみ注目してしまうので視野を広げるい

い機会になったと思います。講義内容は少し難しいものもありましたが、講師の方々が自身の体験談などを交えて説明してくださり、世界で起きている出来事や問題など、今まで遠い世界のことだと思っていたことが意外にも身近であると実感しました。

情報学群 情報科学類 **鈴木 貴裕** Suzuki Takahiro

出席学生
の声
Student's
Voice 05

他の講義では得られない考え方を必ず学ぶことができる

殆どの大学の授業は、研究者、すなわち学界出身の講師が行う。一方で、社会基礎学は、産業界や官界出身の講師が登壇するため、新しい考え方を知ることができるのではないかと思います。受講を決めた。社会の最前線で活躍する講師の貴重な話を聞けることはもちろんであるが、この講義の最大の魅力は、講師と議論できる時間が長く、また、授業後に質問でき

ることにある。やる気を持って講義に臨めば他の講義では得られない考え方を必ず学ぶことができる。私が特に印象に残っているのは、大学で都市工学を学んだのち不動産会社に就職した講師の話である。大学で学んだことをどのように実社会に応用するかの例として、とても参考になった。

芸術専門学群 **土田 日駿** Tsuchida Hitoshi

出席学生
の声
Student's
Voice 06

産業界・官界トップリーダーの思考のプロセスを知ることができた

私は産業界・官界という今の自分から遠い分野について学ぶことに魅力を感じ、受講することを決めました。この分野に進むつもりがなくとも見聞を広げることができる点において、本講義は非常に有意義なものであると思います。多岐に渡る分野のいずれもが質の高いものでした。特に講義を通じてトップリーダーの考え方を学べたことが興味深かったです。形になって社会に

現れたものは調べれば出てきますが、そこでどのような思考のプロセスを踏んだのかは受講しなければ知ることはできませんでした。今後は、ここで得られた知見や価値観を自らの分野に落とし込み、新たな形で出力していけるようにしたいと思います。

社会・国際学群 国際総合学類 **山本 一葉** Yamamoto Kazuha

出席学生
の声
Student's
Voice 07

世界を舞台に活躍されている方々の警戒に接することができる

将来海外での仕事を視野に入れている私は、「グローバル人材」「教養」というワードに惹かれ、「社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養I」を受講しました。大学生活、特に筑波大学では、社会と直に関わる場が少ないように思います。なので、各業界のフロンティアに立ち、世界を舞台に活躍されている方々の警戒に接することが学内でできるのはとても貴重な機会でし

た。また、講義全体を通して、現在のグローバル社会に対応するだけでなく、世界を牽引している方たちのお話を踏まえたくて、次世代の私たちが今度はどのような社会をつくるべきかを考えることが必要だと感じました。

学生の声 Student's Voice

社会基礎学Ⅱを受講して



人間学群 心理学類 **柄澤 輝** Karasawa Hikaru

出席学生
の声
Student's
Voice **08**

広い視野をもって、自分なりに考える場

全国規模、地球規模で直面する課題に対して「答えを知る」のではなく、トップリーダーと共に「考える」場だと捉えます。私は社会基礎学Ⅰを受講し、社会基礎学Ⅱも引き続き受講することを決めました。講演を聴く貴重な機会を得られ、また受講者の活発な質疑が刺激的だったからです。今回の個人的な学びは、草

の根の運動が世界にも影響を及ぼす時代となっていることでした。グローバル化の中で同じ方向を目指しながら、地方活性化のために個人が独自の課題解決を考える必要を感じました。この講義を通して、各界のトップリーダーが見る世界・見据える将来から学び、多角的かつ広い視野で物事を考える力がつくでしょう。

社会国際学群 国際総合学類 **水野 巴那** Mizuno Hana

出席学生
の声
Student's
Voice **09**

将来につながる考え方を得られる講義

就職活動が迫ってきている中、「地方の活性化」に携わる職業に就きたいと考えている私は実際に様々な業界の最前線で活躍している人たちの考えを知りたいと思い受講しました。コロナ禍での変化などについてもお話を聞くことができ、今後の社会を創造するうえで必要な考え方などを学ぶことが出来ました。自分の普段の生活からは得ることができない情報なども分かりやす

く丁寧に説明してくれたので、グローバル社会における現在の日本の成果と課題が明確になりました。今まで文面でのみ学んできた事実や知識が実際の社会でどう活かされ、また今後どのような対応を求められているのかを把握できたことが一番の学びであつたと思います。

芸術専門学群 **河原井 かれん** Kawarai Karen

出席学生
の声
Student's
Voice **10**

新しい物事の見方や考え方を得られる講義

私は普段触れることの無い世界の話聞き、自らの知見を広げたいという思いで本講義を受講しました。大学の講義内容もだんだんと専門的になっていき、新聞やニュースで得られる知識にも自分の興味・関心というフィルターがかかり、どうしても限りができてしまうと考えたためです。講義全体を通して感じたことは、世界を俯瞰した際見えてくる問題は身近にも存在し、逆も

また然りなのだということです。先に述べたようにフィルター越しに物事を見てしまいがちな私ですが、今回得られたこの視点は、今後の人生の様々な場面において重要な役割を果たしてくれるように感じました。今までなかったものが得られる講義です。是非受講してみてください。

医学群 看護学類 **泉 瑛子** Izumi Eiko

出席学生
の声
Student's
Voice **11**

様々な背景を持つ学生が集まり意見を交わす、大学ならではの貴重な機会

私の専門は看護ですが、人間を相手にする仕事として社会の基礎を知りたいと思い受講しました。各回とも最先端を切り開いてきた講師の方が、各事業の根本にある考え方と方向性について講義して下さいます。私は一度社会経験を経た編入生ですが、これまでの人生で出会うことのなかったような話題についても知ることができ、パネルディスカッションでは現代の学生が

感じる素直な疑問質問を重ねて、世代を超えて考えることに楽しさを感じました。各地から様々な背景を持つ学生が集まり意見を交わすことができるのは大学ならではの貴重な機会です。自分が生きていく社会について、広く深い視点を持ち、主体的に考えるきっかけになると思います。

大学院共通科目 アドバンスト・ディスカッションコースを受講して

理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 生物資源科学学位プログラム

西岡 利隆 *Nishioka Toshitaka*

出席学生
の
声
12
Student's
Voice

世界を相手にビジネスを行っている方々が 今の社会をどのような視点で見ているのかを知ることができる

私は世界を相手にビジネスを行っている方々の考え方を学び、議論を交わしてみたいと考え本講義を受講しました。講義では世の情勢について学び、ディスカッションを行うだけでなく、今後どのようなビジネスを行くべきかに関しても多くの知見を得ることができ、非常に刺激的なものでした。特にビジネスを生み出

す際の「Forecasting」「Backcasting」という考え方には感銘を受けました。常に変化する世界の情勢に対してその本質を見極め、自分がどのように行動するのかを問う本講義の内容は、進路や就職先に関係なく、学生にとって貴重な機会であると思います。

人間総合科学研究科 教育学専攻

野村 祐介 *Nomura Yusuke*

出席学生
の
声
13
Student's
Voice

全体を通して非常に質の高い講義

技術革新が著しい現代社会において、具体的にどのようなことが生じているかを学びたいという知的好奇心から高原ゼミを受講しました。講義では自動運転技術や燃料電池自動車それ自体に加え、それらの社会応用可能性について広く深く学ぶことが出来ました。特に現在の生活枠組みを根底から変革する可

能性を秘めたトヨタ自動車の「e-Palette Concept」について、トヨタ自動車の社員でもある高原先生と直接お話し出来たことは非常に有意義でした。加えて他の受講生との議論を通して得た学びも多く、全体を通して非常に質の高い講義であったと感じています。

人間総合科学研究科 体育学専攻

齊藤 葵 *Saito Aoi*

出席学生
の
声
14
Student's
Voice

専門分野以外の事柄にも目を向け、視野を広げる

新型コロナウイルスの流行をきっかけに私は、現在国際社会で起きている様々な事柄に対して自分から情報を得ることの必要性を改めて感じるようになりました。また、大学・大学院と体育・スポーツを専門に学び部活動に打ち込んできた私は、春から社会人になるにあたり専門分野以外の事柄にも目を向け、視野を広げたいと思うようになりました。そこで、世界を股にかけて働く

方の講義を受けたうえで体育以外の受講生ともディスカッションができる本講義を受講しようと考えました。講義では、これまでの国際社会の動向を学んだうえで色々な考えを持つ受講生と共に未来の社会について考えることができ、多くの発見がある非常に有意義な時間でした。

理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 社会工学学位プログラム

森田 小百合 *Morita Sayuri*

出席学生
の
声
15
Student's
Voice

2050年を見据えて日本の在るべき方向性について考える

「激動化する世界とこれからの日本」というテーマから、現時点、地球規模での気候変動、エネルギー・食料等の資源の枯渇等の社会課題におかれている世界の中で、今後2050年を見据えた日本の在るべき方向性について考えることは、非常に重要なテーマであるという思いから受講しました。講義の中で、

歴史的背景および地理的背景から、現在そして今後への議論に繋がる授業内容は、広く深く体系立てて学ぶことができました。その中でも、ForecastingとBackcastingの両方向からの議論は大変有意義でした。今後、本授業で学んだ知識や方法論を自身の活動へも活かしていきたいと思ひます。

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

<p>総合科目 (学士基盤科目)</p> <p>春B</p> <p>社会基礎学Ⅰ 「グローバル化」と「地方の活性化」に 貢献できる輝く人材の育成</p> <p>オーガナイザー 坪内 孝司 他</p>	<p>第1回 5/22 [土] 14:00~17:00</p>	<p>【導入講義Ⅰ】筑波大学におけるグローバル人材育成方針</p>	坪内 孝司
		<p>【導入講義Ⅱ】連続リレー講義の意味・意義と狙い</p>	三浦 潔司
		<p>【パネルディスカッション】【第1部】 グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?</p> <p>【パネルディスカッション】【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか?</p>	吉村 麻央・太田 誠 三浦 潔司・坪内 孝司
	<p>第2回 5/29 [土] 13:30~16:30</p>	<p>グローバリゼーションにおける地域の活性化</p>	坂本 広顕
		<p>自然資本を活用した地域経営</p>	石崎 晶子
	<p>第3回 6/5 [土] 13:30~16:30</p>	<p>グローバル化と戦争</p>	沢井 俊光
		<p>国際協力の考え方、およびその実践を通じた グローバル人材の必要要素について</p>	坂本 威午
	<p>第4回 6/12 [土] 13:30~16:30</p>	<p>都市開発とエリアマネジメントの実践 ～日本橋エリアを事例として～</p>	雨宮 克也
		<p>モビリティ革命とMaaS (マース)</p>	牧村 和彦
	<p>第5回 6/19 [土] 13:30~16:30</p>	<p>国際経済と総合商社の活動</p>	重吉 玄德
	<p>経済産業政策について</p>	佐々木 啓介	
<p>総合科目 (学士基盤科目) -高年次向け-</p> <p>秋AB</p> <p>社会基礎学Ⅱ 「グローバル化」と「地方の活性化」に 貢献できる輝く人材の育成</p> <p>オーガナイザー 坪内 孝司 他</p>	<p>第1回 10/2 [土] 13:30~16:30</p>	<p>【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い</p>	三浦 潔司
		<p>【パネルディスカッション】【第1部】 グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?</p> <p>【パネルディスカッション】【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか?</p>	石川 貴之・平石 和昭 三浦 潔司・坪内 孝司
	<p>第2回 10/9 [土] 13:30~16:30</p>	<p>国内・国際経済の最近のトピックス</p>	中村 宏之
		<p>企業経営の現状・課題と戦略</p>	十河 英史
	<p>第3回 10/16 [土] 13:30~16:30</p>	<p>日本外交の現状と課題</p>	森 健良
		<p>未来の国土づくりを担う皆さんへ</p>	森 昌文
	<p>第4回 11/13 [土] 13:30~16:30</p>	<p>日本の安全保障環境と防衛政策</p>	鈴木 敦夫
		<p>日本の宇宙政策について</p>	松尾 剛彦
	<p>第5回 12/4 [土] 13:30~16:30</p>	<p>地方自治の重要性とは何か?</p>	森 民夫
		<p>【パネルディスカッション】 我が国が直面する構造改革と社会資本整備</p>	森 民夫・中原 淳 中村 浩之

世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ディスカッションコース

春BC テクノロジーと グローバルで拓く未来 担当教員 高原 勇	第1回 6/2 [水] 13:00~	モビリティイノベーションの社会応用	高原 勇
	第2回 6/16 [水] 13:00~	スマートシティの社会実装	高原 勇 他
	第3回 7/7 [水] 13:00~	モビリティイノベーションとスマートシティから描く 未来社会像	高原 勇 他
秋AB 多極化する世界とこれからの日本 担当教員 平井 龍太郎	第1回 10/20 [水] 13:00~	アイスブレイク：自己紹介・予め配布された アンケートに基づく発表と会話 講義「世界経済の変化における日本の 産業論と商社活動（第一部）」と全員参加による議論	平井 龍太郎
	第2回 11/17 [水] 13:00~	講義「世界経済の変化における日本の 産業論と商社活動（第二部）」と全員参加による議論 パネルディスカッション テーマ①：インフラビジネスにおけるビジネス構築の機能と課題 事前に提起された課題と発表・全員参加による議論	平井 龍太郎 橋本 政和
	第3回 12/1 [水] 13:00~	パネルディスカッション テーマ②：「リテール業界における商社の将来戦略」 パネルディスカッション テーマ③：「これからの商社の人材戦略」 事前に提起された課題と発表・全員参加による議論 ラップアップ・セッション	平井 龍太郎 村井 宏人 河西 敏章

■ 総合科目 (学士基盤科目)

社会基礎学Ⅰ

■ 総合科目 (学士基盤科目 - 高年次向け -)

社会基礎学Ⅱ

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ディスカッションコース

受 講 案 内

2021

■ 大学院共通科目

テクノロジーとグローバルで拓く未来

■ 大学院共通科目

多極化する世界とこれからの日本